

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月12日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	四万十町	代表者名	四万十町長 中尾 博憲
担当者部署	にぎわい創出課	連絡先電話番号	0880-22-3281
担当者役職	主事	担当者氏名	佐々木 啓人
		連絡先E-mail	
住所	786-8501 高知県四万十町琴平町16-17		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	ワーケーション導入の検討にあたり、真摯に事業展開をともに考えていただいた。また、事前のやりとりや事業報告の際には、スピード感をもって対応していただき、非常にスムーズできめこまやかな対応をしていただいた。細川さんが展開されている事業や他の地域の事例等をご教示いただいたほか、町内施設に関するハード面やソフト面の整備内容の的確なアドバイスをいただき、今後のワーケーション受け入れ地として魅力化を図る上でとても参考になるアドバイザー支援であった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月9日	11時00分	19時30分	1900/1/30 0:00	480
3-2. 派遣場所	会場名	藤井山 五智院 岩本寺		最寄駅	窪川駅
	所在地	高知県高岡郡四万十町茂串町3-13		最寄駅からの交通手段	車(こちらで手配し、アテンドします。)
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 四万十町役場、特定非営利活動法人LIFE、合同会社OUCHI企画、岩本寺	人数 5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本町のワーケーション導入の際に課題となる点は、各施設のハード整備やWi-Fi環境等の整備が十分とは言えない状況である。また、ワーケーションで訪れる来訪客に対しての宿泊施設の長期プランの乏しさ、補助制度の未整備など数多くの課題が存在する。なにより、ワーケーションに対する地域の認識と理解を深めることが重要であり、少しでも受け入れ地としての準備を進める必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	町内の各施設のワーケーションの受け入れ整備と基盤づくりを構築し、ワーケーション希望者の利用者増加を目指す。また、本町の特色を生かしたワーケーションプログラムを造成するとともに、ワーケーションプログラムを通じて地域の課題等を地域内外の人々とともに解決するようなプログラムづくりを目指す。そして、ワーケーションから始まる新たなビジネスや地域の可能性を広げる展開を期待する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・各施設に対するワーケーション受け入れの際に必要な環境整備についての助言 ・ワーケーションプログラムに必要なコンテンツに対する磨き上げに係る助言 ・ワーケーション整備に係る補助金の助言	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・宿泊施設やワークスポット等のワーケーション拠点に必要な整備の内容	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない各施設に対する助言
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	【持ち越し】 ・ワーケーションプログラムの造成についての方法	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演・セミナーは実施していないためアンケートは未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	今年度のワーケーション事業を進めるうえでの予算の確保はまだできていないため、年度内または次年度に向けて予算を確保し、ワーケーションの受け入れ地として滞在型のプログラム構築とプロモーションにかかる整備を実施し、ワーケーション地として選ばれる地域へと整備を進めていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

